



Grass Valley

CHORUS HUB

CONNECT ANYTHING

Chorus Hub 11 Setup Guide

www.ediusworld.com

F2542310130
October 2023
Version 11.00

 **ご注意**

- 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- 本製品は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- 運用した結果については、前項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- Grass Valley、グラスバレー、EDIUS、EDIUS MYNC、エディウスおよびそのロゴは、グラスバレー株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、インテル、Intel Xeon、Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Final Cut Pro、Macintosh、ProRes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- © 2023 Dolby Laboratories. All rights reserved. Dolby and the double-D symbol are registered trademarks of Dolby Laboratories. All other trademarks remain the property of their respective owners.
- HDV はソニー株式会社と株式会社 JVC ケンウッドの商標です。
- XDCAM、XDCAM EX、XAVC、XAVC S、SxS はソニー株式会社の商標です。
- P2、AVCCAM、AVC-Intra、AVC-Ultra は、パナソニック株式会社の商標です。
- AVCHD はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- EOS はキヤノン株式会社の商標です。
- RED の商標、サービスマーク、商品名のロゴ、製品名は、米国およびその他の国にある Red.com, Inc. の商標または登録商標です。
- Avid、Avid DNxHD、Avid DNxHR は、米国における Avid Technology, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。
- AMD は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- GoPro は、GoPro, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書で使用している画像およびイラストは開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同様に行ってください。
- 本書では、EDIUS Broadcast、EDIUS Workgroup、EDIUS Pro や EDIUS シリーズを「EDIUS」と表記します。
- 本書では、Microsoft® Windows® operating system を、次のように表記しています。
 - Microsoft® Windows® 10 operating system は、Windows 10
 - Microsoft® Windows® 11 operating system は、Windows 11
 - Microsoft® Windows Server® 2019 は、Windows Server 2019
- 本書内のマークと意味は、次のとおりです。

| マーク | 意味 |
|--|--|
|  | 操作するうえでポイントとなることについて説明しています。 |
|  その他の方法 | 手順の流れとは違う、他の方法で同じ操作を行う方法を説明しています。 |
|  ご注意 | 操作するうえで注意しなければならないことや、制限されることなどを説明しています。 |

警告

健康上の注意

ごくまれに、コンピューターのモニターに表示される強い光や刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像／音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画にかかわらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は一切負いかねますのでご注意ください。

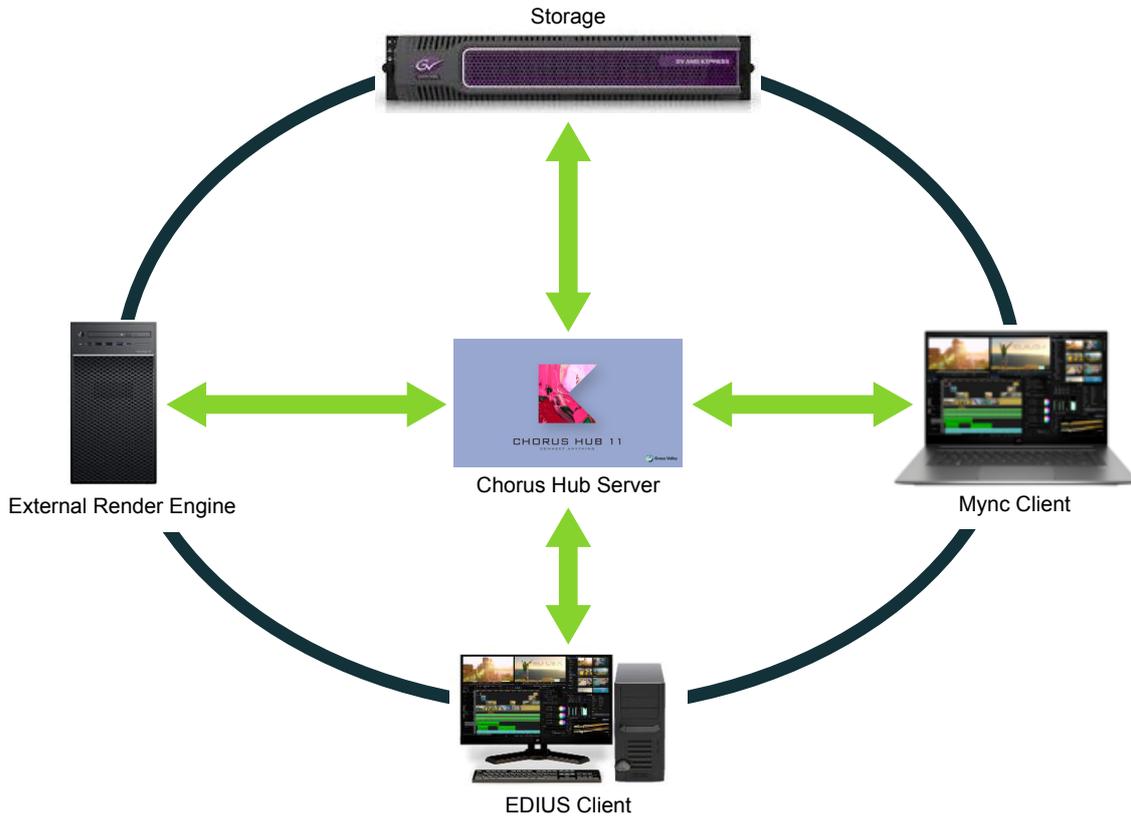
もくじ

| | |
|--|-----------|
|  ご注意 | 2 |
|  表記について | 3 |
|  警告 | 3 |
| 健康上の注意 | 3 |
| 著作権について | 3 |
| はじめに | 6 |
| 概要 | 6 |
| Chorus Hub でできること | 6 |
| コンテンツシェアリング | 6 |
| 外部レンダリング | 6 |
| このマニュアルについて | 6 |
| 動作環境 | 8 |
| システム構築要件 | 8 |
| ファイルアクセシビリティ | 8 |
| ハードウェア要件 | 9 |
| Chorus Hub サーバーとフローティングライセンスサーバーのハードウェア要件 | 9 |
| 外部レンダラーエンジンのハードウェア要件 | 9 |
| サーバーコンピューターのセットアップ | 11 |
| STEP1：サーバーソフトウェアのインストール | 11 |
| STEP2：フローティングライセンスの認証 | 13 |
| ライセンス一覧 | 13 |
| GV License Manager の起動 | 14 |
| フローティングライセンスの認証 | 15 |
| フローティングライセンスを使用するための設定 | 17 |
| STEP3：共有テンポラリープロジェクトフォルダーの登録 | 18 |
| EDIUS クライアント端末のセットアップ | 20 |
| STEP1：フローティングライセンスを使用するための設定 | 20 |
| 外部レンダリング端末のセットアップ | 21 |
| STEP1：外部レンダラーエンジンのインストール | 21 |
| STEP2：フローティングライセンスを使用するための設定 | 22 |
| STEP3：Windows の自動ログオン機能の有効化 | 22 |
| セットアップ後の動作確認 | 23 |
| STEP1：フローティングライセンスの認証の確認 | 23 |
| STEP2：フローティングライセンスのチェックアウトの確認 | 24 |
| STEP3：外部レンダリングの動作確認 | 24 |
| ライセンス管理 | 26 |
| サーバーコンソールの管理者パスワードの変更 | 26 |
| サービスの稼働状況の確認 | 27 |
| ライセンスサーバーモジュールの再起動 | 27 |
| 付録 | 30 |
| フローティングライセンスの認証解除 | 30 |
| STEP1：フローティングライセンスの使用状況の確認 | 30 |
| STEP2：フローティングライセンスの認証解除 | 30 |
| トラブルシューティング | 32 |
| EDIUS 起動時にエラーが発生する | 32 |
| EDIUS の一部の機能が使用できない | 33 |
| フローティングライセンスの認証 / 認証解除中にエラーが発生する | 33 |
| 管理コンソールのパスワードを忘れた | 34 |

はじめに

概要

Chorus Hub サーバーを中心に、複数の EDIUS/Mync クライアントをつなげて実現するグループクリエイティブソリューション。各クライアント端末で行われた素材設定や映像編集データなどをグループ全員と共有し、効率的な作業を行うことができます。全体の構成としては、データベースを集中管理する「Chorus Hub サーバー」、ソリューション全体のライセンスを管理する「フローティングライセンスサーバー」、そして、複数の EDIUS/Mync クライアントで構築されます。また、エンコードやレンダリングなどの専用エンジンとして、別途、外部レンダリング端末を追加することも可能です。



Chorus Hub でできること

コンテンツシェアリング

Chorus Hub を通じて、Mync 11 で設定したさまざまな素材設定情報 (In 点 /Out 点やマーカー、アセットの表示色など)、および Mync 11 で管理している EDIUS 11 のプロジェクトやシーケンスを各クライアントと共有できます。

また、EDIUS で編集を行う際、EDIUS 11 に新設された [Mync] ウィンドウによって、これらの共有された情報をダイレクトかつシームレスに活用できます。

外部レンダリング

外部レンダリング端末を接続すると、EDIUS 11 でのタイムラインのファイル出力や、Mync 11 でのアセットのファイル変換を外部で行えるようになり、クライアント端末の負担を大幅に低減できます。

このマニュアルについて

このマニュアルでは、1 台のコンピューターに Chorus Hub サーバーとフローティングライセンスサーバーの両方をインストールして運用する場合について説明しています。このコンピューターを、以降「サーバーコンピューター」と呼びます。

はじめに

EDIUS クライアントは、EDIUS Workgroup をインストールして運用する場合について説明しています。また、外部レンダーエンジンは、サーバーコンピュータとは別の端末にインストールして使用することを前提として説明しています。

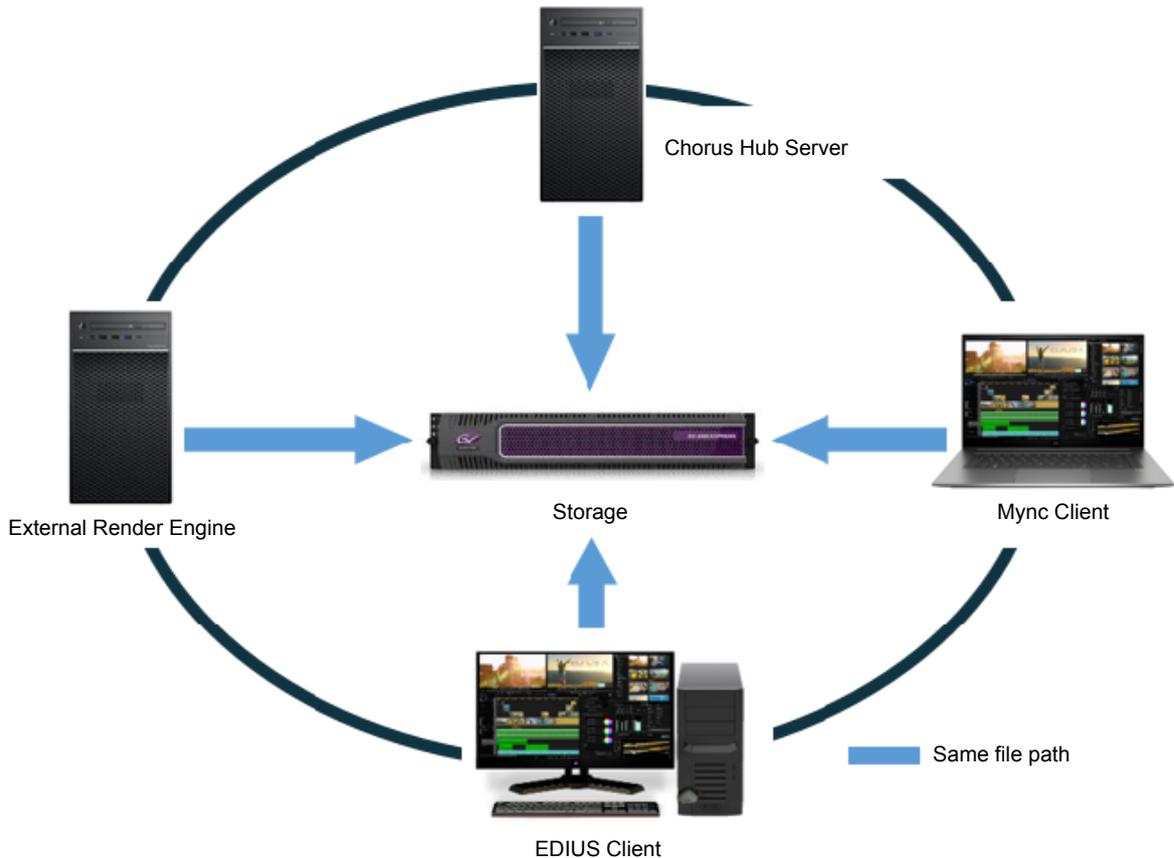
動作環境

Chorus Hub のシステム構築に必要な動作環境について説明します。

システム構築要件

ファイルアクセシビリティ

Chorus Hub を構成するすべてのコンピューターが、タイムラインで使用するファイルとテンポラリープロジェクトのファイルの両方に、同じファイルパスでアクセスできるように設定されている必要があります。



■ その他の条件

- 次のすべてのコンピューターが同じサブネット上に存在する必要があります。
 - Chorus Hub サーバー
 - フローティングライセンスサーバー
 - EDIUS クライアント
 - 外部レンダーエンジン
- 1つのシステムにつき、1台のChorus Hubサーバーを導入する必要があります（複数のChorus Hubサーバーを導入することはできません）。
- GPUfxを使用しているタイムラインをレンダリングするには、外部レンダリング端末でWindowsの自動ログオン機能を有効にする必要があります。
“STEP3: Windowsの自動ログオン機能の有効化” (▶ 21ページ)
- ライセンスの認証や検証のためインターネットへの接続が必要です。
- Chorus HubサーバーおよびEDIUSは、エディションによってインストールに使用するセットアップファイルが異なります。セットアップを始める前に、「EDIUSWORLD.COM」から適切なセットアップファイルをダウンロードしてください。
<https://www.ediusworld.com/>
 - EDIUS Workgroupの場合
ChorusHubServer_Setup-11.xx.xxxx.exe
EDIUS_Setup-11.xx.xxxx.exe
 - EDIUS Broadcastの場合
ChorusHubServer_Broadcast_Setup-11.xx.xxxx.exe

EDIUS_Broadcast_Setup-11.xx.xxxx.exe

- 各エディションで認証が必要なライセンスについては、“ライセンス一覧”を参照してください。
“ライセンス一覧” (▶ 12 ページ)

ハードウェア要件

システムを構築するには、次のコンポーネントのインストールが必要です。

- Chorus Hub サーバー
- フローティングライセンスサーバー
- 外部レンダーエンジン



- 外部レンダーエンジンは、システムの要件に応じてサーバーコンピューターとは別の端末を用意してインストールしてください。
- EDIUS のハードウェア要件については、EDIUS のマニュアルを参照してください。

Chorus Hub サーバーとフローティングライセンスサーバーのハードウェア要件

Chorus Hub サーバーとフローティングライセンスサーバーのハードウェア要件は次のとおりです。

■ OS

- Windows Server 2019

■ CPU

- AVX2 をサポートする Intel 第 5 世代以降の CPU
- クライアント 20 台で同時編集する場合、論理コア 8 以上、2.5 GHz 以上のベースクロック

■ メモリ

- 32 GB 以上

■ ストレージ

- 500 GB 以上の SSD

■ ネットワーク

- 1 GbE 以上

■ グラフィックカード

- 2 GB 以上のビデオメモリが必要

システム設計・運用上の注意事項

- 共有ストレージおよびネットワークの要求仕様は、同時に稼働する EDIUS クライアントの数や編集素材のフォーマット、またはタイムラインのトラック数により異なります。
- サーバー性能および負荷の状態によっては、コンテンツ共有のための同期に時間がかかる場合があります。

外部レンダーエンジンのハードウェア要件

外部レンダーエンジンのハードウェア要件は次のとおりです。

■ OS

- Windows 10 64-bit 版 (Version 22H2 以降)
- Windows 11 (最新バージョン)

■ CPU

- Intel 第 5 世代以降の CPU、または同等の AMD CPU

■ メモリ

- 16 GB 以上

■ ストレージ

- 必要なストレージの空き容量 6 GB

■ グラフィックカード

- 2 GB 以上のビデオメモリが必要
- Direct3D 機能レベル 11_1 以降に対応した GPU を推奨
- EDIUS のタイムラインで GPUfx を使用しているときのビデオメモリ容量の要件は、プロジェクトフォーマットによって異なります。10-bit のビデオを編集する場合、SD プロジェクトは 1 GB 以上、HD/4K/8K プロジェクトは 2 GB 以上を推奨します。

サーバーコンピュータのセットアップ

サーバーコンピュータとして使用する端末に、Chorus Hub サーバーとフローティングライセンスサーバーをインストールします。インストール後、必要なフローティングライセンスを登録し、共有テンポラリープロジェクトフォルダーを登録します。

STEP1：サーバーソフトウェアのインストール

サーバーコンピュータとして使用する端末に Chorus Hub サーバーとフローティングライセンスサーバーをインストールします。

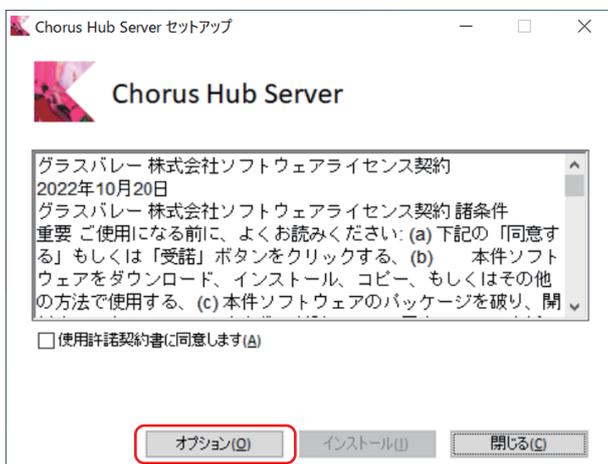
📌 ご注意

- Chorus Hub サーバー、フローティングライセンスサーバー、および EDIUS は、同じビルド番号である必要があります。
- サーバーコンピュータには、インストールを実行する際に使用する OS のアカウント（管理者権限を持つアカウント）でサインインしてください。

1) サーバーコンピュータとして使用する端末で、ChorusHubServer_Setup-11.xx.xxxx.exe を実行する

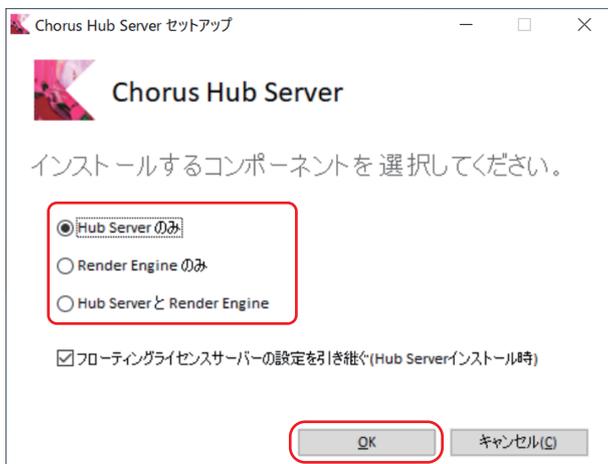
- セットアップウィザードの指示に従って操作してください。

2) [オプション] をクリックする



- コンポーネントの選択画面が表示されます。

3) インストールするコンポーネントを選択し、[OK] をクリックする

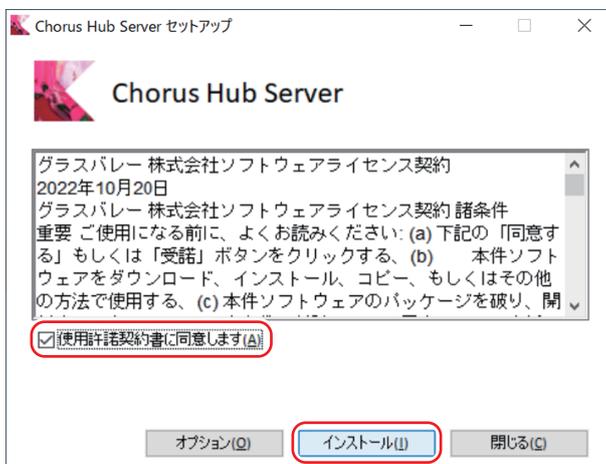


| | |
|------------------------------|--|
| [Hub Server と Render Engine] | Chorus Hub サーバーと外部レンダーエンジンの両方をインストールします。 |
| [Hub Serverのみ] | Chorus Hub サーバーのみ、または外部レンダーエンジンのみをインストールします。 |
| [Render Engineのみ] | |



- このマニュアルでは、[Hub Server のみ] を選択した場合について説明しています。
- 選択したコンポーネントにかかわらず、フローティングライセンスサーバーが同時にインストールされます。
- フローティングライセンスサーバーがすでに稼働している場合に [フローティングライセンスサーバーの設定を引き継ぐ (Hub Server インストール時)] にチェックを入れると、フローティングライセンスサーバーの既存の設定をすべて Chorus Hub サーバーにインポートします。

4) [使用許諾契約書に同意します] にチェックを入れ、[インストール] をクリックする



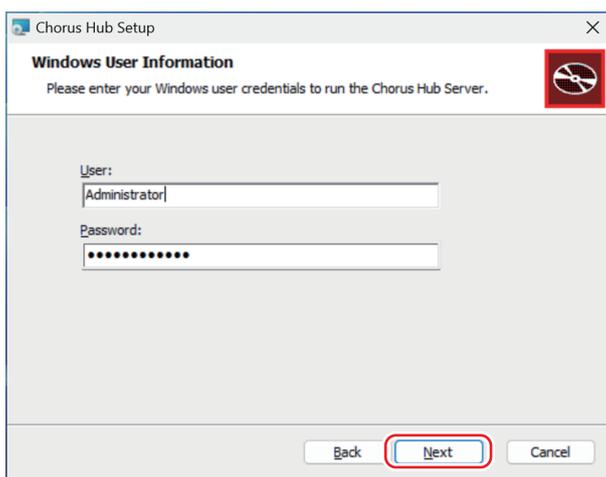
📌 ご注意

- 使用許諾契約書は、内容をスクロールさせ、必ずすべての条項をお読みください。
 - 使用許諾契約書に同意いただけない場合は [閉じる] をクリックしてインストールを中止し、書面で当社カスタマーサポートにご連絡ください。
- 選択したコンポーネントのインストールが開始されます。

5) [Next] をクリックする

6) [User] と [Password] を入力し、[Next] をクリックする

- この画面は、手順 3) で [Render Engine のみ] または [Hub Server と Render Engine] を選択した場合のみ表示されます。手順 3) で [Hub Server のみ] を選択した場合は表示されません。



- サインインしている OS のアカウントと同じユーザー名とパスワードを入力します。
- インストール後、入力したアカウントとは別のアカウントを使用する場合やアカウント情報を変更する場合は、Chorus Hub サーバーをいったんアンインストールし、再インストールする必要があります。

7) [Install] をクリックする

8) [再起動] をクリックする



STEP2 : フローティングライセンスの認証

サーバーソフトウェアのインストールが完了したら、サーバーコンピュータでフローティングライセンスの認証を行います。

ライセンス一覧

認証が必要なライセンスは、次のとおりです。

■ EDIUS Workgroup の場合

| | |
|------------|---|
| 必要なライセンス | <ul style="list-style-type: none"> • Chorus Hub 11 Server FL Chorus Hub サーバーのフローティングライセンスです。 • Chorus Hub 11 Render Option FL 外部レンダーエンジンのフローティングライセンスです。 • Chorus Hub 11 Sync Option FL Chorus Hub サーバーと連携する EDIUS クライアントが同期するために必要なフローティングライセンスです。 EDIUS クライアントの数と同じ数のライセンスが必要です。 • EDIUS 11 Workgroup FL EDIUS クライアントで使用する EDIUS のフローティングライセンスです。 |
| オプションライセンス | <ul style="list-style-type: none"> • EDIUS 11 K2 Option FL • EDIUS 11 Authoring Option FL • EDIUS 11 S3 Direct Access Option FL |

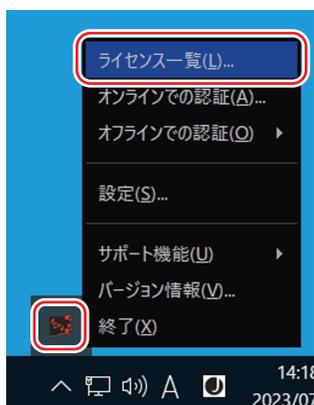
■ EDIUS Broadcast の場合

| | |
|------------|---|
| 必要なライセンス | <ul style="list-style-type: none"> • Chorus Hub 11 Server FL Chorus Hub サーバーのフローティングライセンスです。 • Chorus Hub 11 Render Option Broadcast FL 外部レンダーエンジンのフローティングライセンスです。 • Chorus Hub 11 Sync Option FL Chorus Hub サーバーと連携する EDIUS クライアントが同期するために必要なフローティングライセンスです。 EDIUS クライアントの数と同じ数のライセンスが必要です。 • EDIUS 11 Broadcast FL EDIUS クライアントで使用する EDIUS のフローティングライセンスです。 |
| オプションライセンス | <ul style="list-style-type: none"> • EDIUS 11 K2 Option FL • EDIUS 11 Authoring Option FL • EDIUS 11 S3 Direct Access Option FL |

GV License Manager の起動

フローティングライセンスの認証は、サーバーコンピュータの GV License Manager (サーバーモード) で行います。

- 1) タスクバーの通知領域にある GV License Manager アイコンを右クリックし、[ライセンス一覧] をクリックする

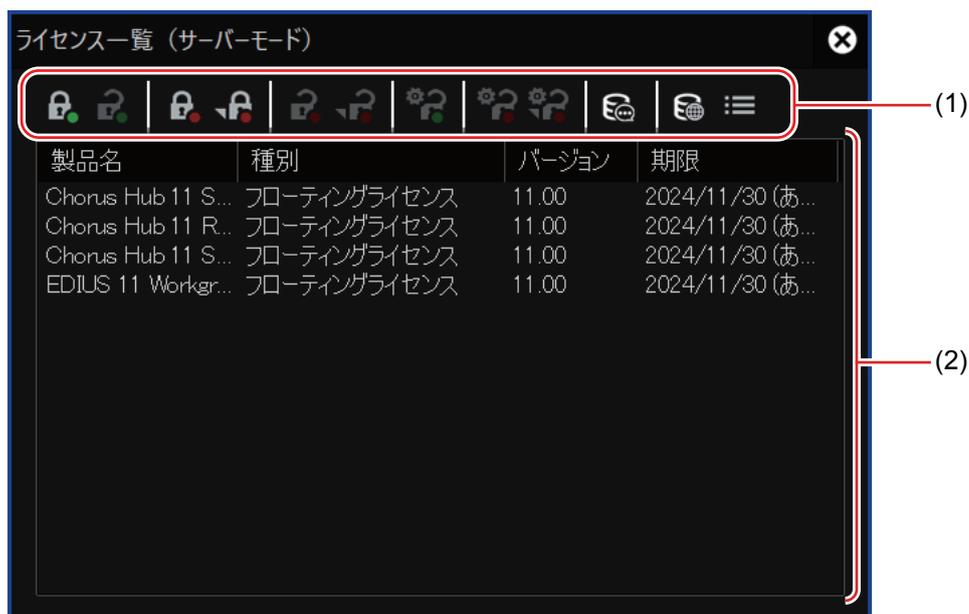


- GV License Manager (サーバーモード) が起動し、[ライセンス一覧 (サーバーモード)] ダイアログが表示されます。
“[ライセンス一覧 (サーバーモード)] ダイアログ” (▶ 13 ページ)

その他の方法

- Windows のスタートメニューを表示し、[Grass Valley] → [GV License Manager (Server Mode)] をクリックします。
- タスクバーの通知領域にある GV License Manager アイコンをダブルクリックします。

■ [ライセンス一覧 (サーバーモード)] ダイアログ



| | | |
|-----|---------|---|
| (1) | 操作ボタン | ライセンスを認証したり、Web ブラウザでサーバーコンソールを表示したりするボタンが配置されています。 サーバーコンソールでは、フローティングライセンスの使用数やライセンスを使用しているクライアントを確認したり、ライセンスサーバーモジュールを再起動したりできます。 |
| (2) | ライセンス一覧 | 認証が完了したライセンスの一覧を表示します。 |

- サーバーコンピュータ以外のコンピュータでは、[ライセンス一覧] ダイアログが表示されます。画面に表示される内容は、[ライセンス一覧 (サーバーモード)] ダイアログと同一です。

フローティングライセンスの認証

フローティングライセンスの認証を行います。
ライセンスの認証は、オンライン認証とオフライン認証が可能です。



- ライセンスの認証解除の方法については、“フローティングライセンスの認証解除”を参照してください。
“フローティングライセンスの認証解除” (▶ 29 ページ)

フローティングライセンスの認証 (オンライン認証)

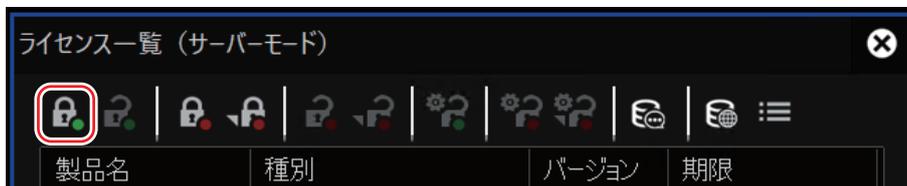
オンライン環境下のサーバーコンピュータで、フローティングライセンスの認証を行います。

- ライセンスの認証には、インターネットへの接続が必要です。
- 認証が必要なライセンスについては、“ライセンス一覧”を参照してください。
“ライセンス一覧” (▶ 12 ページ)

1) サーバーコンピュータで、GV License Manager (サーバーモード) を起動する

- “GV License Manager の起動” (▶ 13 ページ)

2) [オンラインでの認証] をクリックする



- シリアルナンバーの入力画面が表示されます。

3) シリアルナンバーを入力し、[OK] をクリックする

- シリアルナンバーが正しく認証されると、確認画面が表示されます。

4) 確認画面で [OK] をクリックする



- 認証されたライセンスが、GV License Manager のライセンス一覧に表示されます。
- 手順 2) ~ 4) を繰り返し、必要なライセンスをすべて認証します。
- ライセンスの認証が完了したら、フローティングライセンスを使用するための設定をします。
“フローティングライセンスを使用するための設定” (▶ 16 ページ)

フローティングライセンスの認証 (オフライン認証)

オフライン環境下のサーバーコンピュータで、フローティングライセンスの認証を行います。

- 認証が必要なライセンスについては、“ライセンス一覧”を参照してください。
“ライセンス一覧” (▶ 12 ページ)

1) サーバーコンピュータの空きポートに USB メモリーを接続する

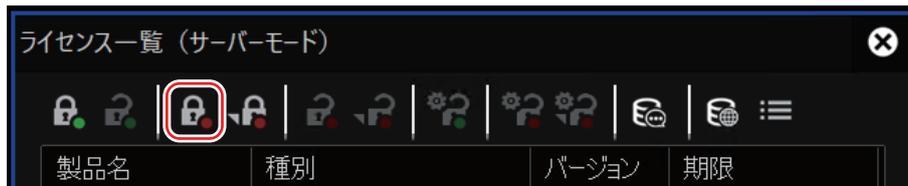
2) エクスプローラーで USB メモリーを開き、4 つのフォルダーを作成する

- フォルダー名は、「[HUB]」、「[XRE]」、「[SYNC]」、「[EDIUS]」としてください。

3) GV License Manager (サーバーモード) を起動する

- “GV License Manager の起動” (▶ 13 ページ)

4) [オフラインでの認証 ID ファイルの生成] をクリックする



- シリアルナンバーの入力画面が表示されます。

5) シリアルナンバーを入力し、[OK] をクリックする

6) [ID ファイルの出力先] ダイアログで、USB メモリーの各フォルダーを出力先として選択し、[フォルダーの選択] をクリックする

| 保存先のフォルダー | ライセンス |
|-----------|--------------------------------|
| HUB | Chorus Hub 11 Server FL |
| XRE | Chorus Hub 11 Render Option FL |
| SYNC | Chorus Hub 11 Sync Option FL |
| EDIUS | EDIUS 11 Workgroup FL |

7) 確認メッセージが表示されるので、[OK] をクリックする

- 手順 4) ~ 7) を繰り返し、認証を行うライセンスの ID ファイルをすべて出力します。

8) サーバーコンピュータから USB メモリーを取り外し、インターネット接続されている Windows PC に接続する

9) エクスプローラーで USB メモリーを開き、「HUB」→「Activation」フォルダー内の GVActivation.exe をダブルクリックする

10) [GV ソフトウェアのライセンス認証を行いますか?] と表示されるので、[はい] をクリックする

11) 確認メッセージが表示されるので、[OK] をクリックする

- 手順 9) ~ 11) を各フォルダーで繰り返し、認証を行うライセンスの ID ファイルをすべて取得します。

12) Windows PC から USB メモリーを取り外して、サーバーコンピュータに接続する

13) サーバーコンピュータの GV License Manager (サーバーモード) で、[オフラインでの認証 認証ファイルの登録] をクリックする



14) USB メモリーを開き、「HUB」→「Activation」フォルダー内の Response.key を選択して [開く] をクリックする

15) 確認メッセージが表示されるので、[OK] をクリックする

- 認証されたライセンスが、GV License Manager のライセンス一覧に表示されます。
- 手順 13) ~ 15) を繰り返し、認証を行うライセンスの ID ファイルをすべて登録します。
- ライセンスの認証が完了したら、フローティングライセンスを使用するための設定をします。
“フローティングライセンスを使用するための設定” (▶ 16 ページ)

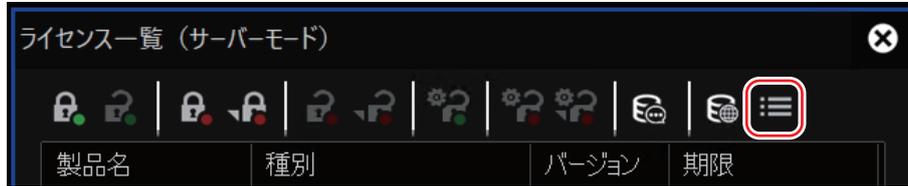
フローティングライセンスを使用するための設定

サーバーコンピュータの GV License Manager (サーバーモード) で、フローティングライセンスを使用するための設定をします。

1) サーバーコンピュータで、GV License Manager (サーバーモード) を起動する

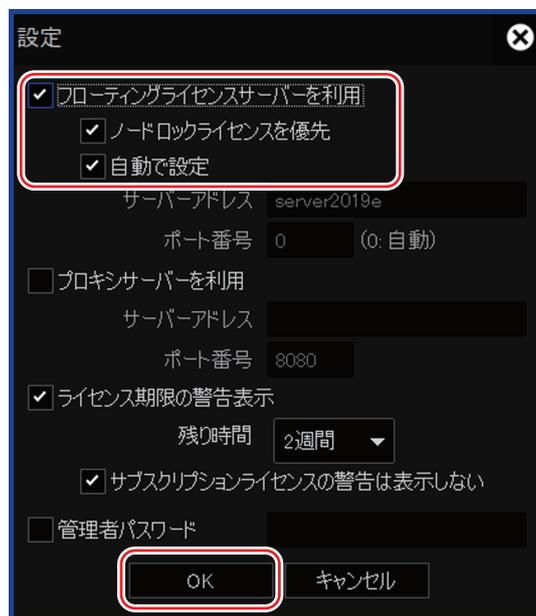
- “GV License Manager の起動” (▶ 13 ページ)

2) [設定] をクリックする



- [設定] ダイアログが表示されます。

3) [フローティングライセンスサーバーを利用] と [自動で設定] にチェックを入れ、[OK] をクリックする



- [ノードロックライセンスを優先] にチェックを入れると、フローティングライセンスとノードロックライセンスに同じ種類のライセンスが存在する場合に、ノードロックライセンスを優先して利用できます。

4) [×] をクリックして GV License Manager を閉じ、OS を再起動する



STEP3 : 共有テンポラリープロジェクトフォルダーの登録

サーバーコンピュータで、共有テンポラリープロジェクトフォルダーを登録します。

共有テンポラリープロジェクトフォルダーとは、外部レンダーエンジンで処理するレンダリングジョブの情報を一時的に保存するフォルダーです。

共有テンポラリープロジェクトフォルダーは、Chorus Hub サーバー、EDIUS クライアント、外部レンダーエンジンから同じファイルパスでアクセスできるように設定されている必要があります。

NAS を用意して、各マシンからアクセス可能なフォルダーを設定することをおすすめします。

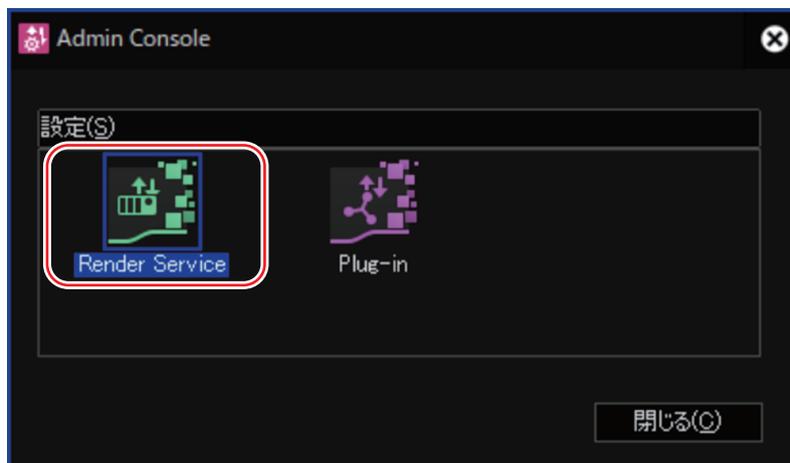


- あらかじめ、各マシンからアクセス可能な共有フォルダーを作成してください。

1) サーバーコンピュータで Windows のスタートメニューを表示し、[Grass Valley] → [Admin Console] をクリックする

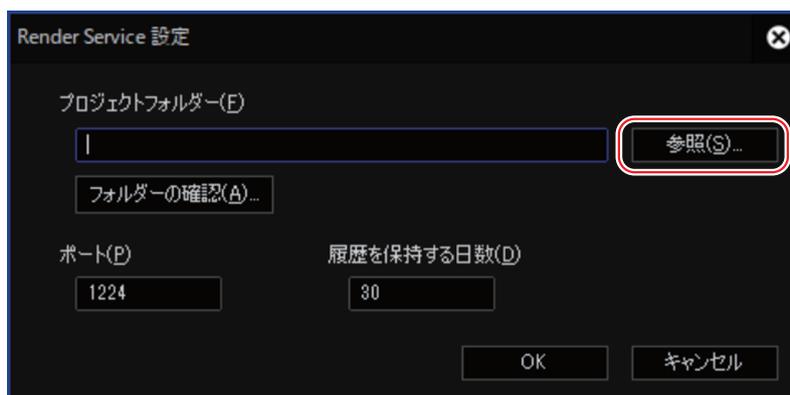
- [Admin Console] ダイアログが表示されます。

2) [Render Service] をダブルクリックする



- [Render Service 設定] ダイアログが表示されます。

3) [参照] をクリックし、共有テンポラリープロジェクトフォルダーを指定して [OK] をクリックする



4) [フォルダーの確認] をクリックする

- Chorus Hub サーバーから正常にアクセスできているかを確認します。



- [フォルダーの確認] をクリックしたときにエラーダイアログが表示された場合は、共有フォルダーのアクセス権限とネットワークパスを確認してください。

5) [OK] をクリックする

EDIUS クライアント端末のセットアップ

EDIUS クライアント端末のセットアップについて説明します。

Chorus Hub サーバーへ接続するすべての EDIUS クライアント端末で次の操作を行ってください。

📌 ご注意

- あらかじめ、EDIUS クライアントとして使用するコンピューターに EDIUS をインストールしてください。EDIUS のインストールについては、EDIUS のマニュアルを参照してください。
- Chorus Hub サーバー、フローティングライセンスサーバー、および EDIUS は、同じビルド番号である必要があります。

STEP1：フローティングライセンスを使用するための設定

EDIUS クライアント端末の GV License Manager で、フローティングライセンスを使用するための設定をします。

1) EDIUS クライアントで、GV License Manager を起動する

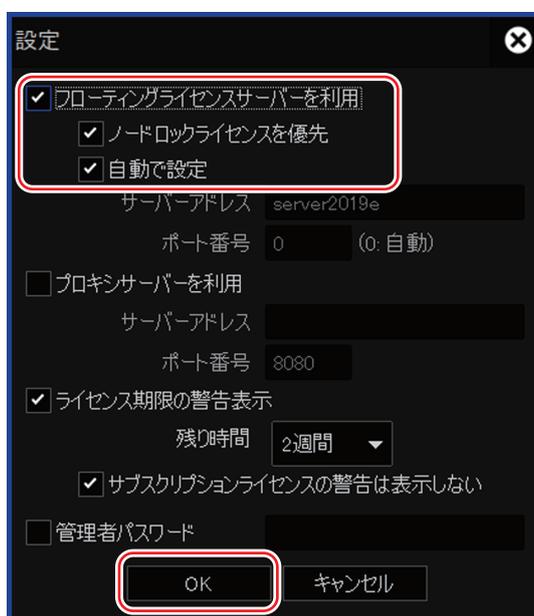
- “GV License Manager の起動” (▶ 13 ページ)

2) [設定] をクリックする



- [設定] ダイアログが表示されます。

3) [フローティングライセンスサーバーを利用] と [自動で設定] にチェックを入れ、[OK] をクリックする



- [ノードロックライセンスを優先] にチェックを入れると、フローティングライセンスとノードロックライセンスに同じ種類のライセンスが存在する場合に、ノードロックライセンスを優先して利用できます。

外部レンダリング端末のセットアップ

外部レンダリング端末のセットアップについて説明します。

STEP1：外部レンダーエンジンのインストール

外部レンダーエンジンをインストールします。

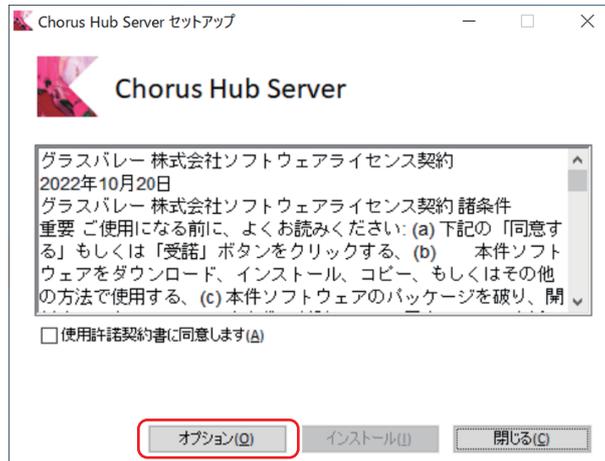
⚠️ ご注意

- 外部レンダーエンジンのインストールには、同じビルド番号の Chorus Hub サーバーのセットアップファイルをご使用ください。
- 外部レンダーエンジンをインストールする前に、外部レンダリング端末で次の準備を行ってください。
 - Chorus Hub サーバーのインストールを実行したときに使用した OS のアカウントと同じアカウント（同じユーザー名 / パスワード）を作成する
 - 作成したアカウントでサインインする

1) 外部レンダーエンジンとして使用する端末で、ChorusHubServer_Setup-11.xx.xxxx.exe を実行する

- セットアップウィザードの指示に従って操作してください。

2) [オプション] をクリックする



- コンポーネントの選択画面が表示されます。

3) [Render Engine のみ] を選択し、[OK] をクリックする



4) “STEP1：サーバーソフトウェアのインストール” の手順 4)～7) の操作を行う

- “STEP1：サーバーソフトウェアのインストール” (▶ 10 ページ)

5) 「閉じる」をクリックする



⚠️ ご注意

- サードパーティビデオプラグインや VST 音声プラグインを使用したタイムラインを外部レンダーエンジンでレンダリングする場合、外部レンダリング端末にも、使用しているプラグインをインストールする必要があります。
- サードパーティビデオプラグインはインストール後、OS を再起動してください。
- VST 音声プラグインはインストール後、次の手順で VST プラグインコンポーネントがインストールされたフォルダーを設定してください。
 - Windows のスタートメニューを表示し、[Grass Valley] → [Admin Console] をクリックする
 - [Admin Console] ダイアログで [Plug-in] をダブルクリックし、[エフェクト] → [VST プラグインブリッジ] でフォルダーを設定し、[OK] をクリックする
 - [Admin Console] ダイアログを閉じ、OS を再起動する

STEP2 : フローティングライセンスを使用するための設定

外部レンダリング端末の GV License Manager で、フローティングライセンスを使用するための設定をします。
設定方法は、EDIUS クライアントの“STEP1 : フローティングライセンスを使用するための設定”を参照してください。
“STEP1 : フローティングライセンスを使用するための設定” (▶ 19 ページ)

STEP3 : Windows の自動ログオン機能の有効化

外部レンダーエンジンをご使用の場合、GPUfx を使用しているタイムラインをレンダリングするには、外部レンダリング端末で Windows の自動ログオン機能を有効にする必要があります。

詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/troubleshoot/windows-server/user-profiles-and-logon/turn-on-automatic-logon>

セットアップ後の動作確認

構築したシステムが正しく動作するかを確認します。

STEP1：フローティングライセンスの認証の確認

サーバーコンピューターのサーバーコンソールで、必要なフローティングライセンスが認証されていることを確認します。

1) サーバーコンピューターで、GV License Manager (サーバーモード) を起動する

- “GV License Manager の起動” (▶ 13 ページ)

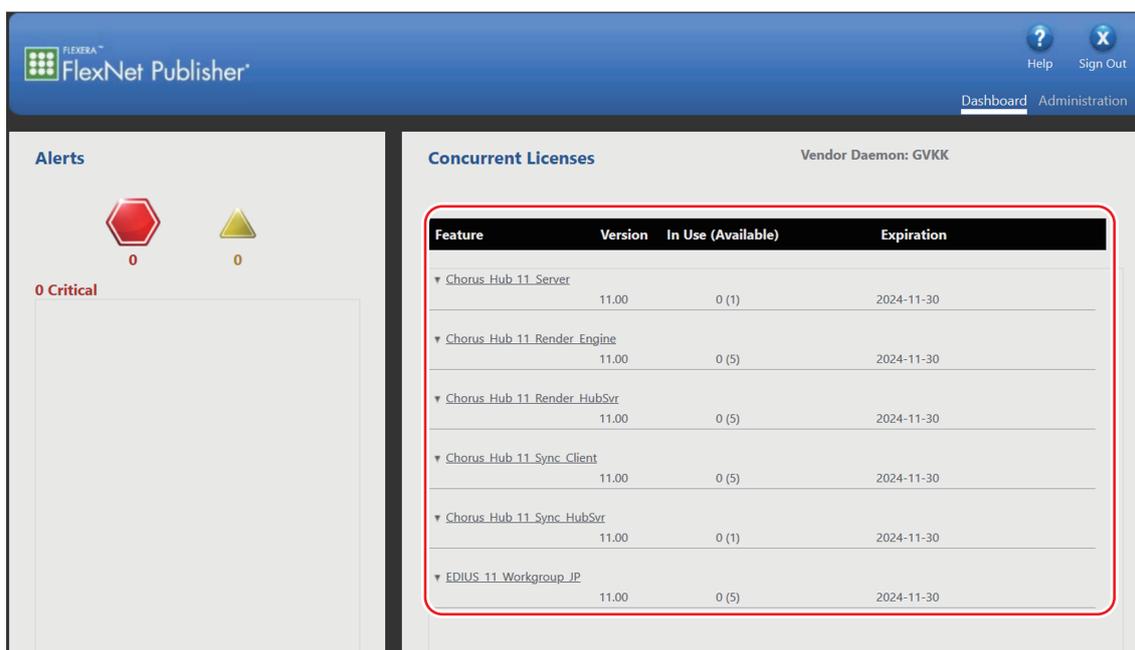
2) [ライセンスサーバーをブラウザで開く] をクリックする



- Web ブラウザで、サーバーコンソールが表示されます。

3) 必要なライセンスが表示されていることを確認する

- 次のライセンスが登録されていることを確認します。
 - Chorus Hub 11 Server
 - Chorus Hub 11 Sync Client
 - Chorus Hub 11 Sync HubSvr
 - EDIUS 11 Workgroup



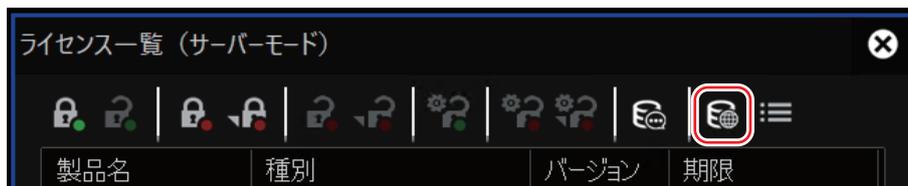
- 外部レンダーエンジンをご使用の場合は、次のライセンスが表示されているかどうかも確認してください。
 - Chorus Hub 11 Render Engine
 - Chorus Hub 11 Render HubSvr

4) Web ブラウザを閉じる

STEP2 : フローティングライセンスのチェックアウトの確認

EDIUS クライアントで EDIUS を終了 / 起動し、フローティングライセンスのチェックアウトが正しく動作するかを確認します。

- 1) すべての EDIUS クライアントで、EDIUS を終了する
- 2) サーバーコンピュータで、GV License Manager (サーバーモード) を起動する
 - “GV License Manager の起動” (▶ 13 ページ)
- 3) [ライセンスサーバーをブラウザで開く] をクリックする



- Web ブラウザで、サーバーコンソールが表示されます。

- 4) サーバーコンソールで、[EDIUS 11 Workgroup] の使用中のライセンスの数が「0」であることを確認する
 - 使用中のライセンスの数の右側に表示されている () 内の数は、認証されているライセンスの総数です。
「0 (5)」と表示されている場合は、認証されているライセンスの総数「5」のうち、使用中のライセンスの数が「0」であることを示します。

| 製品名 | 種別 | バージョン | 期限 |
|-------------------------|----|-------|------------------|
| ▼ EDIUS 11 Workgroup JP | | 11.00 | 0 (5) 2024-11-30 |

- 5) 任意の EDIUS クライアントで EDIUS を起動する
- 6) サーバーコンソールで、[EDIUS 11 Workgroup] の使用中のライセンスの数が「1」に変更されたことを確認する

| 製品名 | 種別 | バージョン | 期限 | Hosts |
|-------------------------|----|-------|------------------|-------|
| ▼ EDIUS 11 Workgroup JP | | 11.00 | 1 (5) 2024-11-30 | |



- 使用中のライセンスの数の表示が変わらない場合は、手動で Web ブラウザの画面を更新してください。

- 7) Web ブラウザを閉じる

STEP3 : 外部レンダリングの動作確認

外部レンダーエンジンをご使用の場合は、EDIUS のレンダリングジョブが外部レンダーエンジンで正しく処理されるかを確認します。ここでは、EDIUS クライアントで外部レンダリングを指定してファイルを出力し、そのレンダリングジョブが外部レンダーエンジンで処理されるかを GV Job Monitor で確認します。

- 1) EDIUS クライアントの EDIUS で、新規プロジェクトを作成する
- 2) 共有ストレージからクリップを読み込み、タイムラインに配置する
- 3) キーボードの [F11] を押す
 - [ファイルへ出力] ダイアログが表示されます。

4) 任意のビデオファイルエクスポートを選択し、[外部レンダリング] にチェックを入れる

- ファイル出力時に、外部レンダーエンジンを使用するように設定します。



5) [出力] をクリックし、保存先を選択して [保存] または [OK] をクリックする

6) EDIUS クライアントの GV Job Monitor で、ファイル出力のジョブが表示、処理されることを確認する

- GV Job Monitor は、[ジョブ] ウィンドウ、または独立した [GV Job Monitor] アプリケーションの 2 つの表示方法があります。

ライセンス管理

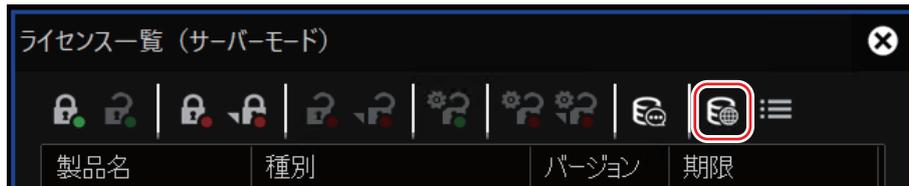
サーバーコンソールの管理者パスワードの変更

管理コンソールに初めてサインインするときは、管理者パスワードを変更する必要があります。

1) サーバーコンピュータで、GV License Manager (サーバーモード) を起動する

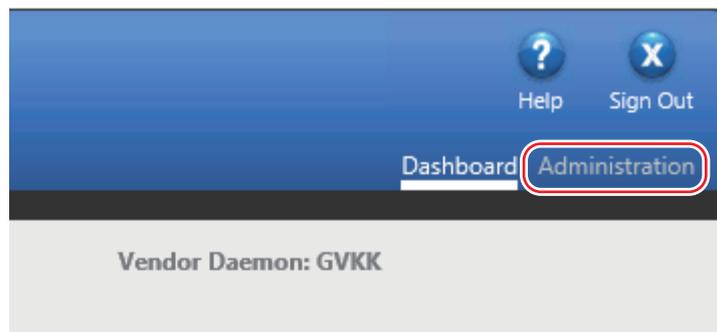
- “GV License Manager の起動” (▶ 13 ページ)

2) [ライセンスサーバーをブラウザで開く] をクリックする



- Web ブラウザで、サーバーコンソールが表示されます。

3) [Administration] タブをクリックする

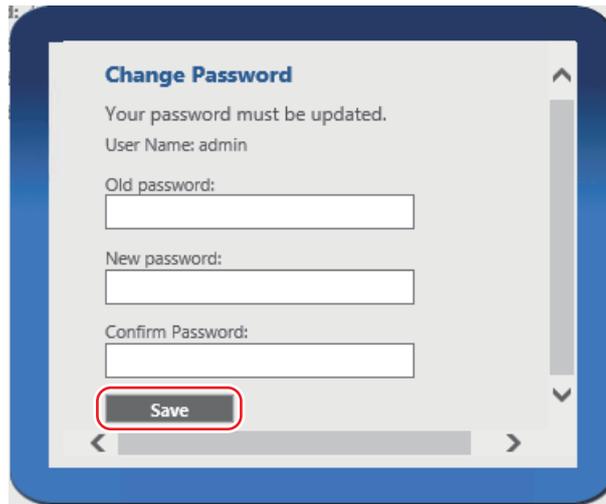


- [Sign In] ダイアログが表示されます。

4) ユーザー名とパスワードを入力し、[Submit] をクリックする

- 次のユーザー名とパスワードを入力してください。
 - ユーザー名：admin
 - パスワード：admin
- [Change Password] ダイアログが表示されます。

5) 現在のパスワードと新しいパスワードを入力し、再度新しいパスワードを入力して [Save] をクリックする



- サーバーコンソールの管理者パスワードの変更が完了します。

6) [OK] をクリックする

- [Change Password] ダイアログを閉じます。

サービスの稼働状況の確認

Windows のタスクマネージャーで、次のサービスが稼働していることを確認します。

- FlexNet Licensing Service 64
- GVLICENSESERVER

1) サーバーコンピュータで Windows のタスクマネージャーを起動し、[サービス] タブをクリックする

2) [FlexNet Licensing Service 64] と [GVLICENSESERVER] の [状態] が [実行中] と表示されていることを確認する

- [停止] と表示されている場合は、対象のサービスを右クリックし、[開始] をクリックします。
- [実行中] と表示されている場合は、対象のサービスを右クリックし、[再起動] をクリックします。



- [サービス] タブのリストに [FlexNet Licensing Service 64] および [GVLICENSESERVER] が表示されない場合は、サーバーコンピュータを再起動し、再度手順 1) から操作してください。

ライセンスサーバーモジュールの再起動

ライセンスサーバーモジュールを再起動する方法を説明します。

フローティングライセンスが正常に認証されているにもかかわらず、EDIUS クライアントでフローティングライセンスが認識できないような場合などにお試しください。

1) サーバーコンピュータで、GV License Manager (サーバーモード) を起動する

- “GV License Manager の起動” (▶ 13 ページ)

2) [ライセンスサーバーをブラウザで開く] をクリックする



- Web ブラウザで、サーバーコンソールが表示されます。

3) [Administration] タブをクリックし、管理コンソールにサインインする

- 管理コンソールに初めてサインインするときは、管理者パスワードを変更する必要があります。
“サーバーコンソールの管理者パスワードの変更” (▶ 25 ページ)

4) [Vendor Daemon Configuration] タブをクリックする

5) [Administer] をクリックする

| Name ▲ | Status | FlexNet Publisher Version | Port | | |
|--------|--------|---------------------------|-------|------------|--------|
| GVKK | Up | 11.19 | 50543 | Administer | Delete |

6) [Stop] をクリックする

Vendor Daemon:GVKK

Vendor Daemon Port in Use: 50543

Vendor Daemon Actions

Stop Reread License Files

Report Log Name: Rotate Report Logs

- [Status] の表示が [Shutting Down] に変わります。

| Name ▲ | Status | FlexNet Publisher Version | Port | | |
|--------|---------------|---------------------------|------|------------|--------|
| GVKK | Shutting Down | 11.19 | | Administer | Delete |

7) 数秒経過した後、手動で Web ブラウザの画面を更新する

- [Status] の表示が [Down] に変わったことを確認します。

| Name ▲ | Status | FlexNet Publisher Version | Port | | |
|--------|--------|---------------------------|------|------------|--------|
| GVKK | Down | 11.19 | | Administer | Delete |

8) [Administer] をクリックする

9) [Start] をクリックする

Vendor Daemon:GVKK

Vendor Daemon Actions

Start

- [Status] の表示が [Starting up] に変わります。

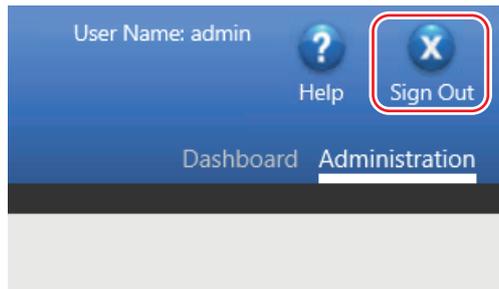
| Name ▲ | Status | FlexNet Publisher Version | Port | | |
|--------|-------------|---------------------------|------|------------|--------|
| GVKK | Starting Up | 0.0 | -1 | Administer | Delete |

10) 数秒経過した後、手動で Web ブラウザの画面を更新する

- [Status] の表示が [Up] に変わったことを確認します。

| Name ▲ | Status | FlexNet Publisher Version | Port | | |
|--------|--------|---------------------------|-------|------------|--------|
| GVKK | Up | 11.19 | 56930 | Administer | Delete |

11) [Sign Out] をクリックし、管理コンソールからサインアウトする



12) Windows のタスクマネージャーを起動し、[サービス] タブをクリックする

13) [GVLicenseServer] を右クリックし、[再起動] をクリックする

- サービスが開始されたら、ライセンスサーバーモジュールの再起動は成功です。
- ライセンスサーバーモジュールを再起動しても問題が解決しない場合は、サーバーコンピューターの再起動をお試しください。

付録

フローティングライセンスの認証解除の方法や、トラブルシューティングについて説明しています。

フローティングライセンスの認証解除

フローティングライセンスの認証解除の方法を説明します。

STEP1：フローティングライセンスの使用状況の確認

すべての EDIUS クライアントで EDIUS を終了した後、サーバーコンピューターのサーバーコンソールで使用中のフローティングライセンスがないかを確認します。

1) すべての EDIUS クライアントの GV Job Monitor で、待機中、または進行中のジョブがないかを確認する

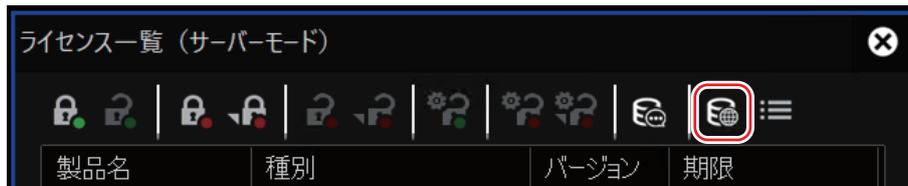
- 待機中、または進行中のジョブがある場合は、ジョブの終了を待つか、ジョブをキャンセルしてください。
GV Job Monitor は、複数のジョブを一括でキャンセルすることもできます。

2) すべての EDIUS クライアントで、EDIUS を終了する

3) サーバーコンピューターで、GV License Manager (サーバーモード) を起動する

- “GV License Manager の起動” (▶ 13 ページ)

4) [ライセンスサーバーをブラウザで開く] をクリックする



- Web ブラウザで、サーバーコンソールが表示されます。

5) サーバーコンソールで、[EDIUS 11 Workgroup] の使用中のライセンスの数が「0」であることを確認する

6) Web ブラウザを閉じる

STEP2：フローティングライセンスの認証解除

⚠ ご注意

- フローティングライセンスの認証解除を行う前に、すべての EDIUS クライアントで EDIUS を終了させてください。
“STEP1：フローティングライセンスの使用状況の確認” (▶ 29 ページ)
- オンラインによる認証解除はできません。

1) サーバーコンピューターの空きポートに USB メモリーを接続する

2) エクスプローラーで USB メモリーを開き、4つのフォルダーを作成する

- フォルダー名は、「HUB」、「XRE」、「SYNC」、「EDIUS」としてください。

3) GV License Manager (サーバーモード) を起動する

- “GV License Manager の起動” (▶ 13 ページ)

- 4) ライセンス一覧で解除するライセンスを選択し、[オフラインでの認証の解除 ID ファイルの生成] をクリックする



- 5) [ID ファイルの出力先] ダイアログで、USB メモリーの各フォルダーを出力先として選択し、[フォルダーの選択] をクリックする

| 保存先のフォルダー | ライセンス |
|-----------|--------------------------------|
| HUB | Chorus Hub 11 Server FL |
| XRE | Chorus Hub 11 Render Option FL |
| SYNC | Chorus Hub 11 Sync Option FL |
| EDIUS | EDIUS 11 Workgroup FL |

- 6) 確認メッセージが表示されるので、[OK] をクリックする

- 手順 4) ~ 6) を繰り返し、認証を解除するライセンスの ID ファイルをすべて出力します。

- 7) [×] をクリックして GV License Manager を閉じる

- 8) ID ファイルを出力した各フォルダーを zip 形式で圧縮し、当社テクニカルサポートに送信する

- 9) タスクバーの通知領域にある GV License Manager アイコンを右クリックし、[終了] をクリックする

- GV License Manager を終了します。

- 10) キーボードの[Ctrl] と[Shift] を押した状態で、Windows のスタートメニューを表示し、[Grass Valley]→[GV License Manager (Server Mode)] をクリックする

- GV License Manager (サーバーモード) が起動したら、キーボードの [Ctrl] と [Shift] から指を離します。

- 11) ライセンス一覧で黄色い文字で表示されているライセンスを右クリックし、[削除] をクリックする

- 手順 11) を繰り返し、認証を解除するライセンスをすべて削除します。

- 12) [×] をクリックして GV License Manager を閉じる

- 13) タスクバーの通知領域にある GV License Manager アイコンを右クリックし、[終了] をクリックする

- GV License Manager (サーバーモード) を終了します。

- 14) Windows のスタートメニューを表示し、[Grass Valley] → [GV License Manager (Server Mode)] をクリックする

- GV License Manager (サーバーモード) が起動します。

トラブルシューティング

エラーやトラブルの原因と対応について、説明します。

EDIUS 起動時にエラーが発生する

EDIUS の起動時に [ネットワークの状態やサーバー上のライセンス残数を確認してください。] と表示された場合は、次のトラブルシューティングをお試しください。

フローティングライセンスの使用状況を確認する

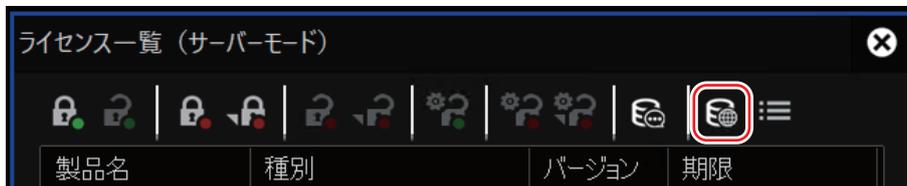
使用できるフローティングライセンスの数が不足している場合があります。

ライセンスの使用状況を確認し、ライセンスが不足している場合は、いずれかのライセンスをサーバーに返却してライセンスを解放する必要があります。

1) サーバーコンピュータで、GV License Manager (サーバーモード) を起動する

- “GV License Manager の起動” (▶ 13 ページ)

2) [ライセンスサーバーをブラウザで開く] をクリックする



- Web ブラウザで、サーバーコンソールが表示されます。

3) サーバーコンソールで、[EDIUS 11 Workgroup] の使用中のライセンスの数を確認する

| 製品名 | 種別 | バージョン | 期限 |
|-----------------------|-------|-------|-----------------------|
| EDIUS 11 Workgroup JP | 11.00 | 5 (5) | 2024-11-30 |
| | | | Hosts |

- 使用中のライセンスの数の右側に表示されている () 内の数は、認証されているライセンスの総数です。
- 使用中のライセンスの数と、認証されているライセンスの総数が同じ数の場合は、使用可能なライセンスが残っていないため、EDIUS を起動することはできません。

4) [EDIUS 11 Workgroup] の [Hosts] のリンクをクリックする

- 現在、ライセンスを使用している EDIUS クライアント名が表示されます。いずれかの EDIUS クライアントで EDIUS を終了し、ライセンスをサーバーに返却します。

5) EDIUS クライアントで、EDIUS を起動する

- 解放されたライセンスを使用して、EDIUS が起動します。

サービスの稼働状況を確認する

Windows のタスクマネージャーで、次のサービスが稼働していることを確認します。

- FlexNet Licensing Service 64
- GVLICENSESERVER

1) サーバーコンピュータで、サービスの稼働状況を確認する

- サービスの稼働状況の確認方法について、詳しくは “サービスの稼働状況の確認” を参照してください。
“サービスの稼働状況の確認” (▶ 26 ページ)

2) サーバーコンピュータで GV License Manager (サーバーモード) が起動していることを確認し、EDIUS クライアントで EDIUS を起動する

EDIUS の一部の機能が使用できない

EDIUS クライアントで EDIUS を使用するときは、フローティングライセンスサーバーへの接続を維持する必要があります。15 分以上接続が遮断された場合、EDIUS で次の機能が無効になります。

- ファイルへの書き出し
- バッチエクスポート
- ディスクへの書き込み
- Quick Titler の使用

EDIUS でこれらの機能が無効になっている場合は、次のトラブルシューティングをお試しください。EDIUS クライアントがフローティングライセンスサーバーに再接続されると、無効化されていた機能が有効になります。



- トラブルシューティングを行っても問題が解決しない場合は、次の内容をご確認のうえ、当社テクニカルサポートまでご連絡ください。
 - サーバーコンピューターの Web ブラウザで、サーバーコンソールが開けるかどうか
 - サーバーコンソールの [EDIUS 11 Workgroup] の [Hosts] のリンクをクリックして、該当の EDIUS クライアント名が表示されているかどうか

EDIUS クライアントの GV License Manager を再起動する

EDIUS クライアントの GV License Manager を再起動します。

1) EDIUS クライアントでプロジェクトを保存し、EDIUS を終了する

2) GV Job Monitor で、待機中、または進行中のジョブがないかを確認する

- 待機中、または進行中のジョブがある場合は、ジョブの終了を待つか、ジョブをキャンセルしてください。GV Job Monitor は、複数のジョブを一括でキャンセルすることもできます。

3) タスクバーの通知領域にある GV License Manager アイコンを右クリックし、[終了] をクリックする

- GV License Manager を終了します。

4) Windows のスタートメニューを表示し、[Grass Valley] → [GV License Manager] をクリックする

- GV License Manager が起動します。

5) EDIUS クライアントで、EDIUS を起動する

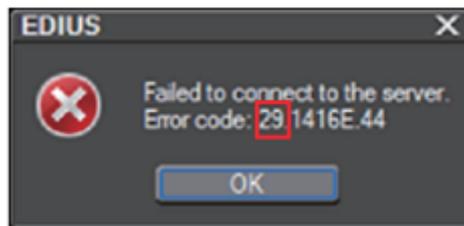
サーバーコンピューターを再起動する

フローティングライセンスサーバーとして稼働しているサーバーコンピューターを再起動します。

1) サーバーコンピューターを再起動する

フローティングライセンスの認証 / 認証解除中にエラーが発生する

フローティングライセンスの認証 / 認証解除中にエラーが発生した場合は、エラーコードが表示されます。



トラブルシューティングの手順は、表示されるエラーコードによって異なります。詳しくは、次の URL にアクセスしてご確認ください。
https://www.ediusworld.com/jp/support/faq/cat120/cat1_714.html

管理コンソールのパスワードを忘れた

管理コンソールのパスワードを忘れた場合は、構成ファイルを変更してパスワードを初期化します。

パスワードを初期化する前に、すべての EDIUS クライアントで次のことを確認してください。

- 待機中、または進行中のジョブがないこと
- EDIUS が終了していること

パスワードを初期化する

サーバーコンピュータで、管理コンソールのパスワードを初期化します。

パスワードを初期化した後、サーバーコンピュータを再起動し、サーバーコンソールで別のパスワードに変更します。

- 1) 管理者権限を持つアカウントで、サーバーコンピュータにサインインする
- 2) テキストエディタを起動する
- 3) エクスプローラーで、次のフォルダーを開く
 - C:\Program Files\Grass Valley\Floating License Server\conf
- 4) server.xml を、テキストエディタにドラッグ & ドロップする
- 5) 「<accesscontrol」の文字列を検索し、次の 2 つの値（下線部分）を変更する

```
<accessControl sessionTimeout="1800">
  <user firstName="System" id="admin" lastName="Administrator" password="{ENCRYPTEDPASSWORD}"
    passwordExpired="false" privileges="admin" type="local-admin"/>
```

- 値の変更内容は次のとおりです。

| 変更前 | 変更後 |
|--------------------------------|------------------------|
| password="{ENCRYPTEDPASSWORD}" | password="admin" |
| passwordExpired="false" | passwordExpired="true" |

- 6) 2 つの値が、次のように変更されていることを確認する

```
<accessControl sessionTimeout="1800">
  <user firstName="System" id="admin" lastName="Administrator" password="admin" passwordExpired="true"
    privileges="admin" type="local-admin"/>
```

- 7) テキストエディタのファイルを上書きする
- 8) サーバーコンピュータを再起動する

9) サーバーコンソールの管理者パスワードを再設定する

- サーバーコンソールの管理者パスワードの再設定の方法については、“サーバーコンソールの管理者パスワードの変更”を参照してください。
- “サーバーコンソールの管理者パスワードの変更” (▶ 25 ページ)

■ パスワードの初期化に失敗した場合

パスワードの初期化に失敗したときは、必要なサービスが稼働していない場合があります。
Windows のタスクマネージャーで、次のサービスが稼働していることを確認します。

- FlexNet Licensing Service 64
- GVLicenseServer

1) サーバーコンピュータで、サービスの稼働状況を確認する

- サービスの稼働状況の確認方法について、詳しくは“サービスの稼働状況の確認”を参照してください。
“サービスの稼働状況の確認” (▶ 26 ページ)

2) “パスワードを初期化する” の手順 8) ～ 9) の操作を行う

- “パスワードを初期化する” (▶ 33 ページ)

Chorus Hub 11 Setup Guide
October 11, 2023

Copyright © 2023 Grass Valley. All rights reserved.